

maruike

in 遊佐町

農業を守る、神秘の湧き水

飽海郡遊佐町直世すくせにある丸池様。池そのものが、鳥海山大物おおももの忌神社の御神体だ。農業をはじめとした食物の神様が祀られており、衣食住の守護神として崇められている。

丸池様は、直径約20m、水深3.5mの、すべて湧き水からなる池。常に水は澄んでおり、瑠璃色に輝いている。池の周辺は原始林であり、異様な形をして幹に巻き付いている。池に棲む魚も捕ってはならない。地域の人からは、親しみと畏敬いけいの念をこめて「丸池様」とよばれ、古くから大切にされている。

池の魚にまつわる秘密



丸池様について古くから伝わる言い伝えがある。それは池にすむ魚についてだ。

平安時代の後期に、現在の東北地方で起きた、前九年の役。安倍宗任あべのみねとうと戦った、源氏の鎌倉権五郎景政は、敵から左目に矢を射られ、この池で目を洗ったという。その際に、池の水が血で真っ赤に染まり、それ以来、池にすむ魚は片目であると言いつた。 (諸説あり)

景政は現在、源正霊神げんしょうれいじんとなり、目の神様として祀られている。



かまくらごんごろうかげまさ
鎌倉権五郎景政

うしわたり

「丸池様」と「牛渡川（荒川地区）」は、 “里の名水・やまがた百選”に選ばれています

県では、地域の人々に育まれてきた優れた湧水等を“里の名水・やまがた百選”として選定し、県内外へ広く紹介している。

地域の湧水を守り、大切にする取組みを県内全域に広げ、水環境の保全に役立っている。右記の選定基準により、高い評価を得た湧水の中から選定されている。

選定基準
①良好な水質と水量を有する
②地域住民等による保全活動が行われている
③親水性と利活用
④自然景観



牛渡川に生えるバイカモ

バイカモ

冷涼で流れのある清流に生育。
初夏から初秋にかけて梅の花に似た
白い花を咲かせることから、
「梅花藻」と名付けられた。



牛渡川に生育するバイカモは、山形県で準絶滅危惧種（絶滅の危険性は低い、生育状況の変化によって、「絶滅危惧」へ移行する可能性のある種）に登録されている。

牛渡川には、「農業里 2020 秋号」で特集されたイバラトミヨも生息！



牛渡川へ伏流水をもたらす鳥海山

丸池様周辺の景色は、鳥海山から庄内平野までを一望できる、とても美しい田園風景。

おいしい米どころ庄内に遊びに来た際は、ぜひ立ち寄ってみてはいかが？



ふるさとへ遡上した鮭



**丸池様と地域を結ぶ、
清流 牛渡川**

牛渡川は、鳥海山から流れ出た溶岩の側面に沿って流れる、全長約4kmの清流だ。その水源のほとんどが、鳥海山によってもたらされる伏流水と、丸池様の湧水であり、一日に約3万トンもの水が流れる。水は牛渡川周辺の田や畑へ、農業用水としても活用されている。また、豊富な水源を求め、毎年秋から冬にかけて大量の鮭が遡上するため、採捕、孵化、放流の事業も行っている。